

科目名	建築構造・設備実習 1						年度	2026	
英語科目名	Structural & HVAC design Practice 1						学期	前期	
学科・学年	建築学科 2年次	必/選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	小倉 直幸	教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築構造設計		
【科目の目的】 建築の構造設計について関心を持つ。 建築物の軸組模型作成、構造図作図により、構造力学への理解を深める。									
【科目の概要】 構造設計という職能に触れる。実案件を題材とし、実務に触れる。 構造模型をもとに自ら図面を製作する過程で、構造材のサイズ等を読み解き学ぶ。 構造材のサイズの決定の仕方を学ぶ。									
【到達目標】 A. 建築物全体の構造を理解しながら、軸組模型を制作することができる B. 軸組模型を参照しながら、構造図を製図することができる C. 木造在来軸組工法を理解しながら、壁量計算をすることができる									
【授業の注意点】 ・毎回資料などを必ず持参し、このシラバスも持参のこと ・製図道具、模型制作用の道具などを持参すること ・軸組模型と構造図を完成提出することと、授業時限数の3/4以上の出席を単位認定の条件とする									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう				レベル1 要努力		
到達目標 A	構造の仕組みを深く理解しながら、軸組模型を丁寧に制作することができる		指定された形態の軸組模型を丁寧に制作することができる				指定された形態の軸組模型を完成させることができない		
到達目標 B	構造の仕組みを深く理解しながら、構造図を製図することができる		軸組模型どおりに、構造図を製図することができる				軸組模型どおりに、構造図を完成させることができない		
到達目標 C	木造在来軸組工法を深く理解しながら、壁量計算をすることができる		指定された計算方法どおりに、壁量計算をすることができる				指定された計算方法どおりに、壁量計算をすることができない		
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 毎回シラバスと関係する図面等の資料を使用する									
【参考資料】 参考書・参考資料等は、授業中に指示する									
【成績の評価方法・評価基準】 毎回の授業への取り組み姿勢、出席状況、成果物、特別講義への積極的発言などを総合的に判断し評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		建築構造・設備実習 1			年度	2026
英語表記		Structural & HVAC design Practice 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	建築構造設計	Structural & HVAC design Practice 1	1 構造専攻の内容	構造専攻の内容と目的を理解できる	2	
			2 構造図の解説	構造図の意味を理解できる		
			3 構造模型の解説	構造模型の意味を理解できる		
2	構造模型	軸組模型の制作①	1 構造模型の制作	軸組模型の制作ができる	2	
			2 構造模型のチェック	指定したプロセスまで軸組模型を制作できる		
3	構造模型	軸組模型の制作②	1 構造模型の制作	軸組模型の制作ができる	2	
			2 構造模型のチェック	指定したプロセスまで軸組模型を制作できる		
4	構造模型	軸組模型の制作③	1 構造模型の制作	軸組模型の制作ができる	2	
			2 構造模型のチェック	指定したプロセスまで軸組模型を制作できる		
5	構造模型	軸組模型の制作④	1 構造模型の制作	軸組模型の制作ができる	2	
			2 構造模型のチェック	指定したプロセスまで軸組模型を制作できる		
6	構造模型	軸組模型の制作⑤	1 構造模型の制作	軸組模型の制作ができる	2	
			2 構造模型のチェック	指定したプロセスまで軸組模型を制作できる		
7	構造模型	軸組模型の制作⑥	1 構造模型の制作	軸組模型の制作ができる	2	
			2 構造模型のチェック	指定したプロセスまで軸組模型を制作できる		
8	構造模型	軸組模型の制作⑦	1 構造模型の制作	軸組模型の制作ができる	2	
			2 構造模型の完成	軸組模型を完成させ、提出することができる		
9	構造図	構造図の製図①	1 構造図の製図	構造図の製図ができる	2	
			2 構造図のチェック	指定したプロセスまで構造図を製図できる		
10	構造図	構造図の製図②	1 構造図の製図	構造図の製図ができる	2	
			2 構造図のチェック	指定したプロセスまで構造図を製図できる		
11	構造図	構造図の製図③	1 構造図の製図	構造図の製図ができる	2	
			2 構造図のチェック	指定したプロセスまで構造図を製図できる		
12	構造図	構造図の製図④	1 構造図の製図	構造図の製図ができる	2	
			2 構造図のチェック	構造図を完成させ、提出することができる		
13	壁量計算	壁量計算①	1 壁量計算	木造在来軸組工法の壁量計算をすることができる	2	
			2 壁量計算のチェック	指定したプロセスまで壁量計算ができる		
14	壁量計算	壁量計算②	1 壁量計算	木造在来軸組工法の壁量計算をすることができる	2	
			2 壁量計算のチェック	指定したプロセスまで壁量計算ができる		
15	特別講義	意匠設計と構造設計	1 特別講義	意匠設計と構造設計の共同作業を理解する	2	
			2 質疑応答	特別講義の内容に対し質問をすることができる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等